

なんわ通信

南和病院クリスマス会を開催

平成22年12月20日南和病院クリスマス会が行われました。
南和病院クリスマス会のイベントは患者さまやご家族の皆さまにクリスマスの
雰囲気を少しでも楽しんで頂きたく毎年開催しているものです。



まずは、リハビリテー
ション科による歌体操
に始まり、患者さまご
出演のピアノ演奏と職
員の縦笛の演奏。



そして、今回クリスマス会にボランティアにて参加していただいたコカリナクラブ「はとぼっぼ」さんによるクリ
スマスドレー他、「綾麩屋」(あやふや)さんによるコーラス・歌体操をご披露いただきました。

コカリナの音色と歌声に酔いしれ、楽しい時間を過ごせたクリスマス会となりました。



平成22年11月14日花吉野ガーデンヒルズ 秋まつり

11月14日(日)、快晴の中、第2公民館前公園で地域恒例行事「花吉野ガーデンヒルズ秋まつり」が
開催され、当院は公園に隣接した第2公民館において「無料健康相談」を開設させて頂きました。
多数の相談者に御越しいただき盛況となりました。



当院からの参加者は(看護部 5名・コメディカル 6名・事務部 1名)12名で、
体組成・骨密度・血管年齢、酸素飽和度等の測定後、測定結果をもとに健康相談をさせて頂きました。



木曜日にお世話になっています消化器内科医です。

人生の中で記憶に残る言葉はどんなものでしょうか。嫌なことや怒りの記憶は結構多く残っていますが、こちらが何気なく発した言葉が、思いのほか相手に長く、しかもいい記憶として残っていると、かえってこちらが驚くことがあります。「あの言葉に救われました」、「こう言ってもらえたので〇〇できました」、などと、何年か後に言われるとびっくりしてしまいます。仕事柄、疾患の説明時に言葉を選んで話してはいるつもりでも、それ以外の日常会話のときにこそ自分が試されている気がします。

私の中では（恐らくは何百人以上の）経過を診させていただいた患者さんとの色々なやり取りが大きな宝物となっています。18年ほど前の年末、肝硬変の末期に近い患者さんが、ある日曜日の夕方「先生、今頃まで病院におらんと早う帰りや。気をつけて帰ってや。もし先生が居らん間に僕に何か起こっても絶対に恨めへんから。ずっと感謝してるから。もし万が一、今後先生に誤診される様なことが起きてても、それでもええからね、絶対に恨んだりせえへんから」と天井を向いたまま言われました。その後何度かの入退院の後、その方は亡くなられました。その間多くのことを話しましたが、そのようなやり取りはその後なく、その時私は、その時なりに感謝の気持ちで、それなりの言葉を交わしたはずですが、数年以上後に会話を思い出して愕然としました。当時まだ自分が若く未熟だったのと、まだ患者さんが肝硬変の末期といえども亡くなる時期でもなかったのが、その方の“一生”を考えての返答ではなかったような気がします。幾度となく思い出すうち、また自分が齢を重ねるうちに感じ方も当然変わってきて、当時自分が汲み取ることのできなかった患者さんの深い気持ちを今更ながらに感じ、どうしてあの時もう少し違った、“命”にまでもかかわる深いやり取りができなかったのかと、思い返すごとに未だに悔やまれてなりません。生きていく方々とのやり直しは可能でも、お見送りしてしまった人とはもう叶いません。それでも大勢の方々との会話を思い返して何度も反芻することで別の人との会話に生かしていければと、なるべく多くの会話を忘れないようにしながら、次に接する人と真摯に対応させていただくことを心がけています。



※「私のこの一枚」では、これぞ！という写真とエピソードをご紹介します



写真は平成22年12月5日、記念すべき第1回奈良マラソン大会のフルマラソン(42.195km)に出場してきた時の写真です。

朝9時にスタートしコース途中、ゲストランナーであるQちゃんこと高橋尚子さんに追い抜かれながらハイタッチ！！一気にハイテンションに！そのまま走りきれば良かったのですが、途中コースはアップダウンが激しく疲れきったところにゴール前でQちゃんに出迎えられハイタッチ！！再びテンションが上がりそのままゴールへ。

足はボロボロ・・・でも42.195km 「4時間38分52秒」で無事に完走しました。決して楽ではありませんが、充実感を味わいました。

次回は今年10月に予定されている大阪マラソンを走りたいと考えています。目標フルマラソン4時間以内？かな。

医事課 上窪 啓之

医療法人弘仁会南和病院 互助会親睦旅行

昨年の秋、互助会で旅行が企画されました。参加者は4班に分かれ、前半2班が9月の日曜に京都へ日帰り、後半は10月・11月に伊勢志摩への1泊旅行でした。京都ではお昼に創作フレンチを堪能し、伊勢志摩では、温泉入浴後、宴会で盛り上がり、翌日伊勢参りをしました。普段の忙しい生活を忘れ、仕事仲間と楽しい時間を過ごしリフレッシュ出来た旅行となりました。



給食委員会

給食を運営する上での安全、衛生面などの問題点や食事療養の内容等について討議し、病棟や各部署と情報を共有し連携をとりながら食事の質の向上と改善を目標に活動しています。より多くの患者様に喜んでいただけるよう、安全で健康な食事の提供を委員一同目指しています。

NST委員会

NSTとは「Nutrition Support Team」のことで日本では「栄養サポートチーム」と訳されています。各専門職種を集めチームを組み、患者様に適切な栄養管理を行う医療チームのことです。栄養管理はすべての医療の基本でありこれをおろそかにするといかなる治療も効果があがりません。南和病院では、入院患者様の栄養状態の評価を行い、栄養状態、摂食機能及び食事形態を少しでも良くするために医師、薬剤師、臨床検査技師、言語療法士、看護師、管理栄養士が集まって、栄養管理計画ができていないか、それをどういうふうに関内の中で展開させるかを討議しています。患者様がより良い栄養状態を保ち、病気が回復するようサポートしています。



南和病院別館竣工式

平成22年12月21日、別館竣工式を行いました。
檀原神宮より宮司さまに御越しいただき、竣工御祓いを行いました。



ホスピタル川柳



退院の 関わり通して 得る絆 うさぎちゃん
食べたいな いたずらのどに さえぎられ 山口勝利
つばみ顔 家族来訪 笑顔咲く ビールとぎょうざのハーモニー

☆職員のみなさまへ☆

日常病院等の何気ない出来事をユーモアと風刺のセンスで表現した作品を募集します。ご応募の作品は事務局で選定、なんわ通信に掲載させていただきます。年に一度掲載作品の中から優秀作品を選出させていただきます。また、昨年12月18日南和病院忘年会の場にて、平成22年度ホスピタル川柳優秀賞の投票を行い、春号掲載の旦那一筋さんの作品「診察で イケメン医師に 熱上がる」が表彰されました。おめでとうございます。

平成22年12月24日デイサービスセンターにて餅つきを行いました。掛け声「ヨイショーイ!!」と共に力強くお餅をつきました。



上:きなこ
下:あんこ



住所 〒638-0833 奈良県吉野郡大淀町大字福神1-181

医療法人弘仁会 南和病院

電話番号 0747-54-5800 FAX番号 0747-54-5814

2011年冬号院内誌 平成23年1月15日発行 編集者:なんわ通信編集委員会事務局